

写真撮影／辻井清一郎



(番組組)

狂言 縄 絢

(大蔵流)

シテ 山本 東次郎
アド 山本 則重
アド 山本 泰太郎

(休憩二十分)

能 井 筒

(金春流)

シテ 本田 光洋
ワキ 野口 敦弘
笛 一噌 庸二
小鼓 観世 新九郎
大鼓 安福 光雄

●縄絢(なわない)

博打に大負けした主人は、金はもとより奉公人の太郎冠者までも取られてしまいました。真実を知らない太郎冠者は、使いのように装って送り出され、行った先の家で初めて事情を知ります。怒った太郎冠者は、何某から山ひとつ先に使に行けと言われれば、持病の脚気で行けないと言い、縄を縋えと言われれば縄など縋ったことがないと断ります。怒った何某は、太郎冠者を返すのでお金で清算しろと主人に迫ります…。

主人の勝手で借金のかたに取られてしまう下人の悲哀を、したたかな太郎冠者が笑いとばしてしまいうる作品です。

●井筒(いづつ)

諸国を旅する僧が、奈良から初瀬参りへ行く途中に在原業平が建立したと伝えられる大和国の在原寺に立ち寄ります。僧は業平の跡を吊っていると里の女が現れます。女は僧に問われるままに業平と紀有常の娘との恋物語を語り、自分こそが井筒の女と呼ばれた有常の娘であると言い残して姿を消します。僧は回向し、夢での再会を期待しつつ仮寝をしていると、業平の形見を身に着けて有常の娘が現れ、恋慕の舞を舞い始めます…。

世阿弥が「上花也」(最高の作品)と自賛する夢幻能の傑作をお届けいたします。

新 会 員 募 集 中

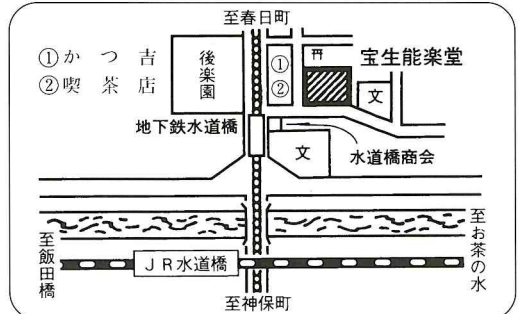
都 民 劇 場

優れた演劇・歌舞伎・音楽をお得な料金で鑑賞します

■案内書(無料)は電話でご請求ください

03 (3289) 4621

●電話受付時間 平日10時～18時(土日祝=休)
<http://www.tomin-gekijo.or.jp>



【宝生能楽堂への交通】

JR(東口)又は 都営地下鉄(A1出口)水道橋下車
〒113-0033 文京区本郷1-5-9 03-3811-4843

お問い合わせ○公益財団法人都民劇場 03-3572-4311

○都民劇場／東京都中央区銀座5-1-7数寄屋橋ビル6F